



令和3年度

富山市立奥田北小学校

向日葵

学校だより第17号

【5年】

卒祝プロジェクトで、お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えるため、メッセージカード作りや放送、集会等を企画、実施しました。どうしても気持ちを伝えられるかを話し合い、協力して進めました。振り返りには「6年生に喜んでもらえてよかった」と書いてあり、来年度、最高学年としてがんばろうという気持ちが伝わってきました。



コミュニティ・スクール（7年目）を振り返って

校長 若 狹 茂

本校は「コミュニティ・スクール（CS）」（※1）として7年目を終えようとしています。

（※1）コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより（※2）、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える学校。「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。令和4年度から、富山市内のほとんどの小・中学校がCSとなる予定です。

（※2）学校運営協議会（保護者や地域の代表の方が参加）を年3回実施、学校評価アンケートを年2回実施し、学校運営に意見を反映させるようにしています。

本校のCSとしての特徴は、2つあります。1つ目は、年2回行う「学校づくり会議」（9月・1月）です。子供たち自身が「よりよい奥田北小学校」を目指して、知恵を出し合います。そのような中から約3年前に生まれたのが『ひまわり憲法』（※3）です。大人がルールを決めて子供に守らせる、子供たちを受け身にするのではなく、子供たち自身に「よりよい生活のために、何が大切か」を考えるよう促し、思考力や判断力、そして自主性を養うようにしています。

（※3）子供たち自身が決めた、子供たちの生活・学習上のルール・約束です。学校の花が「ひまわり」なので、このような名称がついています。

2つ目は、地域の各種団体の皆様と連携して行う体験学習「ひまわり交流会」（※4）です。本校で6年間過ごすと、次のような様々な体験をしながら成長し、次のステージへ進むことができます。

（※4）〔1年〕昔の遊び体験 〔2年〕野菜づくり体験、まち探検 〔3年〕福祉に関する体験（点字、手話、盲導犬、車椅子、障害者スポーツ、高齢者疑似体験、高齢者施設訪問等） 〔4年〕地域に関する体験（富岩運河学習、水上ライン乗船、奥北音頭、中島獅子舞、地鉄・富山港線乗車等） 〔5年〕農業体験（種蒔植え、田植え、稲刈り、脱穀、餅つき） 〔6年〕SDGsや国際理解に関する学習（ユネスコ協会やJICA等と連携） ※コロナ禍で実施できない体験もありました。

1年を振り返ると、本校は、学校と地域の皆様が「一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える学校」であったと思います。今後は、地域の人材バンク「おくきたまると100人バンク」等、地域の方による子供たちへの学習支援（ゲストティーチャー、寄り添い支援等を含む）を進めたいと思います。コロナ禍で制約の多い生活を強いられはいますが、今後も“地域の宝”でもある奥田北っ子を、共に守り育てていきましょう。

最後になりましたが、登下校の見守り活動では、肌が焦げるような暑い夏の日にも、体の芯まで凍るような冬の日にも、通学路のあちこちにライトグリーンやイエローの上着を見かけ、本当に心強く感じました。皆様のご協力を心からありがたく思い、“感謝”の言葉しかありません。本当にありがとうございました！

【5・6年スキー学習】

2月9日（水）、「あわすのスキー場」にて、スキー学習を行いました。

見上げれば、雪山の白さと青空のコントラストが美しい、まさにスキー日和。5年生の初心者の子供たちは、緩いスロープやキッズゲレンデで滑る練習をし、午後からはリフトに乗って滑るまでに上達していました。また、スキーを経験したことがある5年生と6年生は、トレインになって左右に曲がる練習をしたり、上のゲレンデから長い距離を幾度も滑り降りたりして、さらなる技能向上を目指しました。みんな、がんばった満足感いっぱいの笑顔で帰途に着くことができました。

富山に住んでいるからこそ体験できるウインタースポーツを通して、子供たちが郷土のよさを感じ取り、郷土を大切に作る気持ちを育んでくれることを願っています。

